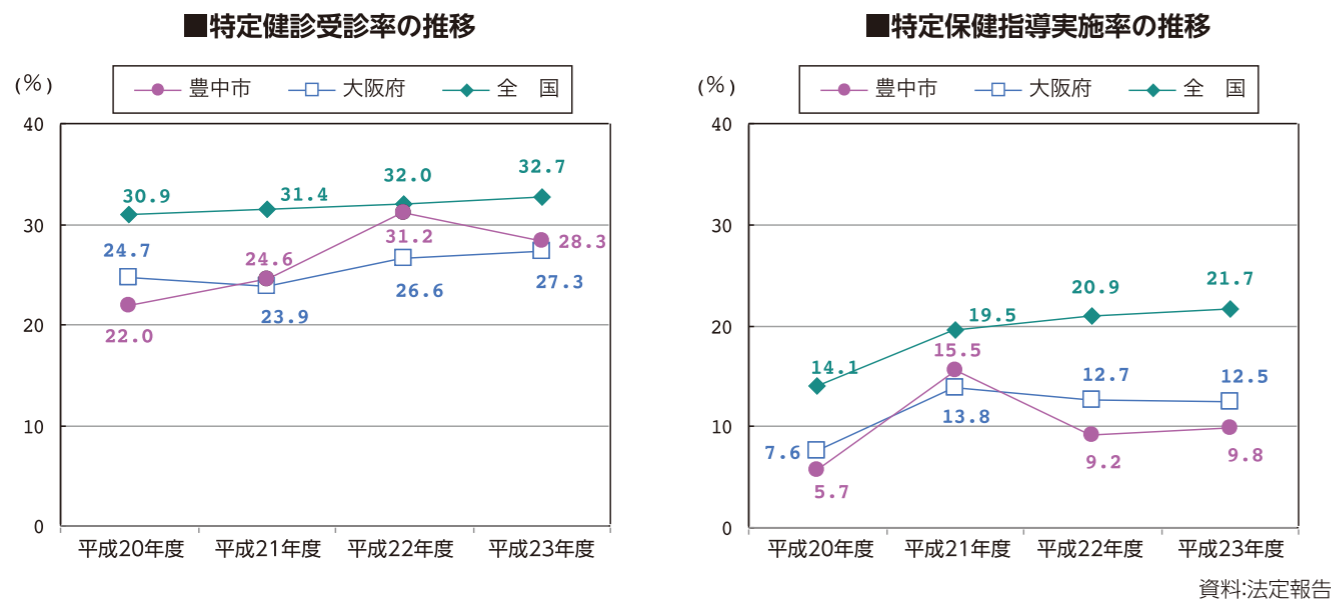


取り組みのヒント

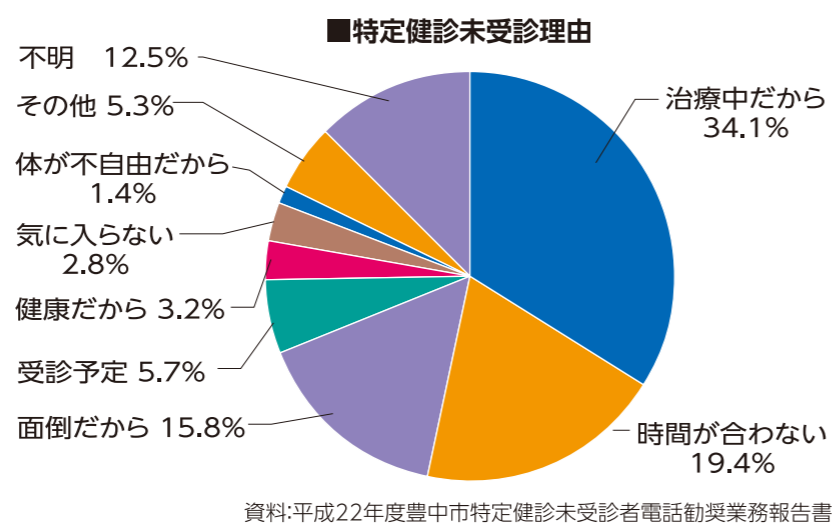
実施率の状況

●特定健診受診率、特定保健指導実施率ともに伸びておらず、第1期計画で設定した目標値には到達できませんでした。特に、特定健診では60歳未満で、特定保健指導では55歳未満で実施率が低くなっています。



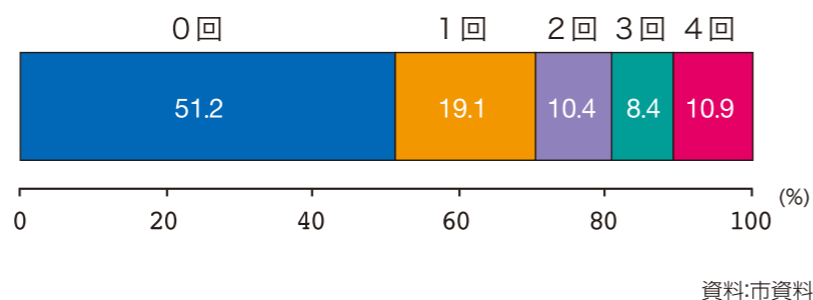
未受診者の状況

●特定健診を受けない理由では「治療中」が最も多いものの、「時間が合わない」「面倒だから」「健康だから」「気に入らないから」などの理由もみられます。



受診回数の状況

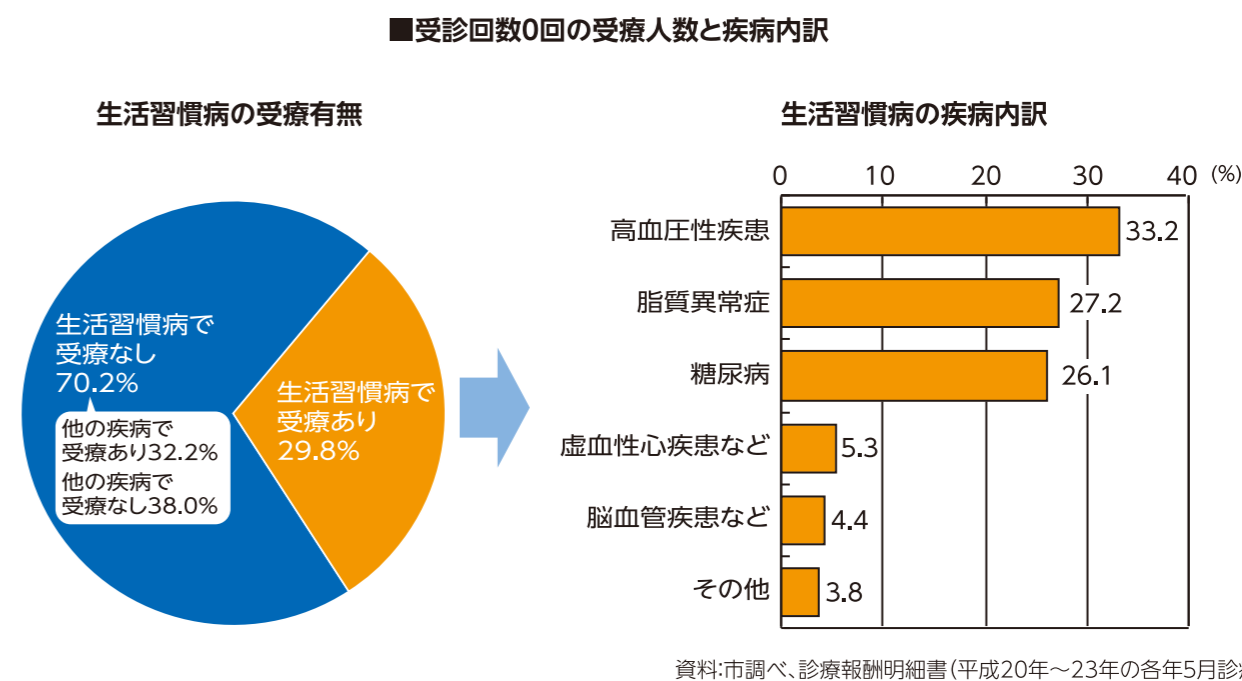
●平成20年度～23年度の4年間に、特定健診を1回も受診していない人が5割以上と多く、4回連続して受診した人は1割と少数です。



めざす方向

未受診理由に合った受診勧奨で受診率UP!

- 特定健診受診回数0回の人のうち、3割はすでに生活習慣病の治療中となっています。疾病の内訳では、「高血圧性疾患」「脂質異常症」「糖尿病」が多くなっています。
- 今後は、特定健診受診0回のうち、受療中でない人をターゲットに、受診の阻害要因を探り、的を絞って受診勧奨を行うことにより、実施率向上を図ることが必要です。
- また、受療中の人については、かかりつけ医と連携して受診勧奨を行います。



魅力ある内容の工夫で継続受診率UP!

●継続して受診している人に対しては、経年で改善状況が一目でわかるような情報を提供するなど、受診者の関心を引く工夫を行い、継続受診率の向上を図ることが必要です。

